



思いが伝わる「真狩×大豆×高校生」のポスター

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

## 北海道真狩高等学校

### 【真狩村】

「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます

#### はじめは？

真狩村は、農業を基幹産業として発展してきた純農村です。真狩高校は有機JAS認証圃場で農業を学ぶ「有機農業コース」と、製菓衛生師の受験資格を取得でき、野菜製菓の開発を行う「野菜製菓コース」がある村立の農業高校です。

村の課題として人口減少問題、観光入込客が低水準、雇用が少ない等があります。そこで全国でも珍しい野菜をスイーツにするパティシエを目指している高校生が主体となり、商品開発や食育活動等により「村をもっと元気に！」と立ち上がりました。

#### おもな活動

真狩村の道の駅に高校生カフェ「La mikka」を設置し、商品開発から販売までを行っています。自分達で育てた野菜や村で採れる野菜を使って、加工したスイーツやパンを販売しています。昨年から地元の豆腐屋と農家の依頼でオール真狩産の野菜と豆腐を使った豆腐ピザを開発し、販売しました。また、地元小学生と大豆の文化を次世代に伝える「大豆100粒運動」を行い、大豆を栽培し、ソイスweetsのブランド化を手がけています。



地元小学生と大豆の栽培

ケーキ屋のない村で、スイーツの販売、お菓子作りの教室等により、その成果を村へ還元し、地域活性化に取り組んでいます。

「野菜スイーツで村を元気に」を合い言葉に高校生パティシエが村の活性化に取り組みます。

#### ここが自慢

##### 【野菜スイーツで村を元気に】

今まで野菜がほとんど使われることの無かったスイーツ分野で、高校生が主体となり商品開発から販売までを小学生、生産者、役場等が携わり、村全体で地域特産物を作り上げながら、道の駅で高校生カフェを運営しています。作物栽培の基本を学ぶとともに、野菜を素材とするお菓子作りから、素材の特性を見極められる「素材のわかるパティシエ」を目指しています。



大豆等が入った野菜スイーツ



高校生カフェ La mikka 道の駅で販売

#### 連絡先

代表者名：青木 保繁校長／設立：1948年／会員：98名

住所：虻田郡真狩村字光6

電話番号：0136-45-2357

FAX：0136-45-3514

E-mail：makkari-koukou@makkari-school.jp

URL：https://www.makkari-hs.com